

# みやぎハイスクール通信

第7号

発行日：令和5年11月30日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動など、各高校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

## 1 1月号の目次

### 1 マナーアップ

- (1) 蔵王高校      (2) 角田高校      (3) 名取北高校

### 2 特色ある取組

- (1) 伊具高校      (2) 名取高校      (3) 仙台二華高校      (4) 中新田高校  
(5) 加美農業高校      (6) 古川工業高校      (7) 小牛田農林高校      (8) 迫桜高校  
(9) 気仙沼高校

### 3 学校紹介

- (1) 大河原商業高校      (2) 柴田高校      (3) 古川高校      (4) 古川黎明高校

### 4 コラム

- (1) 築館高校

### 5 お知らせ

- (1) 美田園高校

# 1 マナーアップ

## (1) 蔵王高校

### <ゴミ拾いと朝の挨拶運動>

本校では部活動が中心となって、地域の老人ホームや福祉施設、あるいは蔵王町の行事等にボランティアとして参加しています。外部の方々と活動する際には高校生としてのあるべき姿が問われることになり、生徒一人一人の日々の取組が映し出されます。今年度は新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり徐々にコロナ禍前と同じようなマナーアップの取組を行うことができるようになってきました。部活動以外でも各学年によるゴミ拾い活動等、意識を高めようと努力しています。文化祭の日にはPTA合同の朝の挨拶運動も行いました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

## (2) 角田高校

### <マナーアップに向けて>

年間を通して様々な取り組みを行っております。  
その中から代表的なものを紹介します。

#### ○ 薬物乱用非行防止教室

10月18日(水)に角田警察署生活安全課より講師をお迎えして実施しました。薬物の害について実際の事例等を交えながら学び、非行予防と被害防止に必要な知識を習得するべく、全校生徒に向けて防止教室を行っていただきました。

#### ○ 交通安全委員会

各クラスに交通安全委員を配し、交通マナーの向上に取り組んでいます。定期的に学校近辺の交差点にて登校時の声かけ運動を行っています。

#### ○ LHR 時の奉仕活動

クラスごとのLHRの時間に奉仕活動を取り入れています。それぞれ実施する時期や内容をクラスで検討し、実施します。学校周辺のゴミ拾いなど地域に貢献すべく各クラスが様々な活動に取り組んでいます。

今後も様々な活動を通して、生徒のマナーアップの向上に取り組むとともに、地域社会への働きかけも積極的に行っていきたいと思っております。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

### (3) 名取北高校

#### <地域に愛され 地域に育てられる名取北高校>

名取北高校のマナーアップ運動には、毎月担当クラスの生徒が協力して行う交通安全運動があり登校時間に本校の生徒を始め通行する人全員に交通安全を呼びかけています。PTA 役員の方と合同で行ったり、警察の方に御協力をいただいたりしながら地域のためにマナーアップに努めています。



また、ロングホームルームの時間にクラス単位で行っている地域清掃を始め、生徒が主体となった活動にも力を入れています。

本校は「地域に愛され 地域に育てられる」ことを励みに頑張っています。今後もマナーアップに全力で取り組んでいきます。



【マナーアップ運動】



【地域清掃】

<学校のホームページはこちらです>

<https://www.natorikita.myswan.ed.jp/>

## 2 特色ある取組

### (1) 伊具高校

#### <特色ある取組紹介>

本校は、農学（農業科）、機械（工業科）、情報（商業科）、福祉（福祉・家庭科）の4系列からなる総合学科です。

今回は、農学系列、情報系列の取組を紹介します。

#### I 農学系列【棚田の保全プロジェクト】

農学系列では、毎年2年次が中心となり、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に選ばれた「大張沢尻棚田」の景観を守り続ける棚田の保全管理に取り組んでいます。

5月にはひとめぼれを作付けし、10月の稲刈りまで月1回、草刈りなどの管理を行いました。



#### II 情報系列【商品開発プロジェクト】

情報系列では、伊具高祭で販売するためのメニューについて、町内で料理店を経営する卒業生と、地元農産物を生かしたコラボメニューの開発を行いました。商品は本校農学系列で生産した「だて正夢」をつかった肉巻おにぎりとメロンパフェ、ハンバーガーの3種類です。文化祭後は卒業生の店でも味わえるようになっています。

伊具高校での学びが、地域の皆さんと共に地域に還元されています。皆さんも伊具高校に入学して地域社会を盛り上げてみませんか。



<学校のホームページはこちらです>

<https://igu.myswan.ed.jp/>

## (2) 名取高校

### <家政科 ファッションショー>

10月27(金)・28日(土)に開催された名高祭において、家政科のファッションショーが開催されました。

1日目は、校内発表で全校生徒に向けて、2日目は、保護者に向けて披露することができました。今年の夏は猛暑の中、実習室でデザインを考え布地を選び、文化祭当日を目標に計画を立てて、日々悪戦苦闘しながら頑張りました。クラスの仲間も家族も、その大変さを知っているからこそ、ファッションショー本番は、歓声とともに涙を流して感激していました。世界で唯一の自分で作ったドレスは、被服系生徒の「学びの集大成」として披露することができ、最高の舞台となりました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

### (3) 仙台二華高校

#### ＜“世界の水問題の解決”に挑む＞

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の1つが「グローバルスタディ課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、2年間（科目の選択によっては3年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校1年次生対象の北上川フィールドワークを9月28日（木）、29日（金）の2日間で実施しました。岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱



える様々な課題などについて、実際に現地に赴いて学びます。1日目は、7つのHR(ホームルーム)が3つに分かれ、(1)伊豆沼サンクチュアリセンター、(2)一関の北上川学習交流館と胆沢平野、(3)東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地をそれぞれ訪れ、研修を行いました。

2日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で育樹活動（補植・追肥）を行いました。この鉱山はかつて東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和施設が設置されていますが、その維持費は年間5億円にも及んでいます。鉱山

にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないように山の保水力を高めるための緑化活動がこの育樹です。10年以上継続しているため、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが、全員が充実した達成感あふれる表情で終えることができました。環境保全の規模としては小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://nika.myswan.ed.jp/>

## (4) 中新田高校

### ＜地域を学び、地域を活性化する ～「地域創造学」の取組＞

中新田高校は、加美町唯一の高校であり、地域から信頼され、地域に貢献する人材を育成する学校を目指して、加美町と連携を深めています。2学年教養総合類型の生徒は、加美町を学びのフィールドとし、多様な内容を探究する学校設定教科「地域創造学」を学んでいます。「地域産業Ⅰ」の授業では、地元加美町で働いている方々の職場を訪問し、インタビューを実施するなどして、加美町を深く調べてきました。デジタル人材育成を目指す加美町との連携により、ウェブページ制作、ドローンショーのプログラミング、動画編集を、(株)セブントゥーファイブから講師を招き、そのスキルを学びました。ウェブページ制作班は、制作アプリの使い方を学び、インタビューの内容を伝えるHP「加美お仕事図鑑」を制作しました。ドローン班は、小型のドローンの動きを制御するプログラムを学び、HP公開イベントの際に、8機のドローンを使ったドローンショーを行いました。飛行するドローンの1台ずつの位置や動きをプログラムし、形を作り出すドローンショーに高校生が携わるのは、日本初の取組と聞いています。10月に行われた文化祭で実際に発表を行いました。ハートの形やオリオン座の形を作り出すドローンの動きに、大きな歓声が上がっていました。加美町と連携した学校設定教科「地域創造学」はまだ始まったばかりです。加美町の自然・産業・文化など、これからも教室を飛び出して学んでいきます。

#### 【ドローンショーに向けて】



「加美お仕事図鑑」のHPはこのQRコードからご覧になれます。



＜学校のホームページはこちらです＞

<http://nakani-h.myswan.ed.jp/>



## (5) 加美農業高校

### <加美農祭の紹介>

本校では、農業教育を通して、「命の大切さ」や「食のありがたさ」を学んでいます。10月27日（金）・28日（土）には、日頃の学習活動や文化活動、特別活動の発表を行う加美農祭（文化祭）を開催しました。

加美農祭では、文化部や図書委員会の展示発表、農業機械科・生活技術科の学習成果の展示発表、3年音楽選択クラスによる合唱などがありました。

また、生徒が心を込めて育てたリンゴや野菜、米、花などの農作物やウィナーなどの畜産加工品等を地域の方に販売しました。販売前から長蛇の列ができ、大盛況でした。そして、各クラスやPTA等の模擬店では、本校農産物を活かした相撲部のちゃんこ鍋、自衛隊の炊き出し、工夫を凝らしたクラスごとの模擬店が並びました。

実行委員が中心となり工夫を凝らしたステージ発表も大いに盛り上がりました。多くの来場者にも楽しんでいただくことができました。

初日の夜には、3年に一度の花火の打ち上げも行いました。加美農祭を通して、喜びや感動を共有し、仲間との絆を深める機会となりました。

このように、農業高校ならではのバラエティに富んだ楽しい文化祭となりました。



写真1 全校生徒で製作した手形アート



写真2 ステージ発表の様子



写真3 展示発表の様子



写真4 餌やり体験

学校のウェブサイトでは生徒の学習や活動の様子を公開しています。ぜひ御覧下さい。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

## (6) 古川工業高校

### <機械科1年生・職場体験会について>

機械科では、キャリア教育の一環として、昨年度からアルプスアルパイン株式会社様に御協力をいただき、1年生を対象とした職場体験会を実施しています。

工場見学のみならず、「鏡面磨き体験」や「先輩社員との座談会」を通して、学校では十分学ぶことのできない実際的な知識・技術を体得し、さらには学校での学習と職業を結び付けることができ、将来のキャリアを築く上での一助として大変有意義な体験会となりました。今年度も12月に実施予定です。職業人として必要とされる責任感・積極性・協調性も含めて幅広い学びを通して、自らの進路選択能力を高めて欲しいと思います。

#### 【参加生徒の声】

- ☞ 今回の見学や体験を通して、鏡面磨きの大変さややりがいなどを感じることができました。工場の設備はとても綺麗でした。説明もとてもわかりやすく見ていて興味を惹くような見学でした。
- ☞ 私はとても車が好きなので、車の部品とかを作っていると聞いていたのでとてもワクワクしていました。見学では実際に作ってる所を見て、加工方法などを知ることができて良かったです。また、見学するとき通路などにゴミやホコリが一切なくて、機械や製品を扱う過程でどれだけ綺麗にすることが大切なのかが分かりました。
- ☞ 職場見学を通して、社会に入ってからの大変さや、加工技術など貴重な体験をさせてもらいました。今回学んだことを今後活かしていきたいと思います。
- ☞ とても役に立った見学でした。人や機械に優しい環境が整っておりすごいと思いました。鏡面磨きも細かな作業で難しかったけどいい体験になりました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

## (7) 小牛田農林高校

### <就職・進学にむけての模擬面接指導>

就職・進学試験を控えた3学年の生徒を対象に、本校では毎年、模擬面接指導を行っています。これは、生徒が栄冠を勝ち取ることを願い、全教員が面接指導を行うものです（かつてはPTAの役員さんからも協力をいただいております）。初日は就職・公務員を希望している生徒を対象に、2日目は進学希望者に対しての練習が行われました。



模擬面接の様子

面接は一人あたり15分程度で行われ、志望動機や高校生活において取り組んできたことなど、あらゆる方向から質問されます。生徒は、緊張しながらも各質問に一生懸命に答えていました。しかしながら、中には面接の途中で頭の中が真っ白になり返答が止まってしまう生徒や、思うように答えられずに涙ぐんでしまう生徒もいました。面接後は各担当者から「評価表」が配られ、良かった点や修正すべきことなど詳細なアドバイスが述べられます。どの生徒も真剣なまなざしでアドバイスを聞き、本番に向けての準備を整えていました。生徒の健闘を、本校では学校全体で応援しています。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kogotanourin.myswan.ed.jp/>

## (8) 迫桜高校

### <迫桜祭>

迫桜祭（文化祭）が10月20日（金）・21日（土）に開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の行動制限も緩和され、校内発表だけでなく一般公開も制限なく行うことができました（写真は花火打ち上げと模擬店会場の様子）。

1日目は合唱部・演劇部・吹奏楽部による発表と、クラス対抗での動画コンテストが上映されました。2日日も前日同様、ステージでは文化部3団体の発表が、校内では文化部各部や各系列、各委員会の展示や体験が行われました。中庭では4年振りに3年次各クラスによる模擬店も行われ、ワッフルや焼き鳥などを御来場の皆様にたくさんお買い上げいただきました。



後夜祭では有志団体によるパフォーマンスのあと、花火の打ち上げが行われました。この花火の打ち上げを実現するために、生徒会と実行委員会が中心となって募金活動を行い、生徒・職員だけでなく保護者の皆様、同窓会の皆様、地域の皆様及び地元企業様にも御協力をいただき、写真のような大輪の花火を夜空に咲かせることができました。厚く御礼を申し上げます。



<学校のホームページはこちらです>

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

## (9) 気仙沼高校

### <海を素材としたグローバルリテラシー育成>

本校は、令和3年度からスーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク校として、海とまちづくりを軸とした探究活動と防災学習で、未来社会を豊かに生きる力を身に付ける取り組みを実践しています。生徒たちは、先輩後輩との縦のかかわりから自分の志・夢を、地域社会との横のかかわりから将来の活躍の場をつくりあげています。



対話で考えを伝え合う研究発表

また、大学や専門学校の教員との研究相談、本物に触れる修学旅行や海外交流等社会へのひろがりから、思考力、コミュニケーション力、多様性・協働性・行動力を身につけるように、活動に取り組んでいます。

これからも、探究活動と防災学習を中心に将来の選択肢を増やし、「飛翔の翼 世界へ！」のスローガンのもと、広いグローバル視野を持った地域社会への貢献意欲が溢れる生徒の成長を支えていきます。



本物に触れる台湾研修

<学校のホームページはこちらです>

<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp/>

## 3 学校紹介

### (1) 大河原商業高校

<ギター部の活動> 大河原商業高校 3年 佐山結香

私たち大河原商業高等学校ギター部は、今年度開校した大河原産業高等学校と部活動と一緒にこなっています。離れた学校間の移動や学校行事などの関係で、活動できる時間が大幅に減りました。そのため、全日本ギターコンクールまで練習をどのようにすれば効率よく出来るかなど2、3年生を中心に考えました。

今年は部員が20名ですが、3年生が3人しかいないため、主にメロディーやハモリを担当するアルトギターや伴奏を担当するプライムギターパートには1、2年生しかいない状況で、コンクール本番まで不安はとても大きかったです。宮城県出身の畑中雄大先生に作曲していただいた自由曲もなかなか思ったように弾けないことが多く、アンサンブルの時間なのにパート練習のようになる時があり、みんな焦っていました。

そんなある日の練習の時みんなでお話し合い、それをきっかけに部員のわだかまりがなくなり、お互いを信頼しあってコンクールに向けて頑張っていました。

2つの学校を行き来しての練習は想像以上に大変で、大商の部室で練習するときは、音が響く環境にあるので弾きやすいのですが、大産の部室で練習すると、音楽室と同じように防音壁のため、床がカーペットのため音が響かない環境でした。慣れない環境に戸惑うことも多かったのですが、縦のリズムをいかに合わせられるか少なくなった練習時間をどうすれば上手に使うことができるかよく考え、無駄のない練習時間の使い方をしようと努力しました。何もかもが今までと違った環境でしたが、とても意味のある練習にすることができました。

コンクール本番直前にもアクシデントがあり、みんな緊張の中で本番を迎えましたが、無事に終わることができてとても安心しました。結果は史上初の8年連続の最優秀賞受賞を成し遂げることができ、とても嬉しかったです。支えてくれた方々に感謝の気持ちを忘れず、向上心を持ちながら、1月に仙南芸術文化センターで開催する定期演奏会に向けて頑張っていきたいと思います。

<学校のホームページはこちらです>

<https://ogs.myswan.ed.jp/>

## (2) 柴田高校

### < 体育大会・芸術鑑賞会、開催！ >

9月の柴高祭に続き、10月5日（木）、6日（金）に、体育大会を開催しました。

5日に運動会種目、6日に球技種目を実施し、天候にも恵まれ、2日間にわたりスポーツを楽しむことができました。

普通科は各学年「打倒、体育科！」と奮起し、体育科は学年を通して力の差が際立つ好プレーを数々魅せてくれました。

また、各会場で白熱した応援が沸き起こり、行事を通して生徒の親睦や団結を一層深めることができました。



10月24日（火）には、芸術鑑賞会が開催されました。今年度は古典落語「学校寄席」を鑑賞し、普段はなかなか触れることができない本物の古典芸能に触れ、伝統芸能への関心を深めることができました。また、実際に生徒が落語の「蕎麦をすする」仕草を体験できるコーナーもあり、生徒一人一人が楽しみながら鑑賞することができました。

学校行事の様子は随時ホームページでも更新していきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

### (3) 古川高校

#### <芸術鑑賞会 ～落語を楽しみました！～>

古川高校では毎年10月に「芸術鑑賞会」を開催しています。今年度のテーマは「学校寄席」。落語や講談、紙切りなどを鑑賞しました。実際にプロが演じる落語を観るという経験は初めてという生徒が多く、期待感と「古典芸能」を楽しめるのだろうかという気持ちが入り交じった中で舞台は始まりました。

流れるような調子で勢いよく進む講談や、扇子や手ぬぐいといった小道具を巧みに用いて風景を目前に描き出す落語の語りに皆が自然に引き込まれ、気がつけば会場一体となって笑っていました。素直に笑い楽しむ姿に、落語家の方からも「皆さん感受性が豊かですね。」と何度もことばをかけられるほどでした。「やる時はやる、楽しむときは思いっきり楽しむ」という古高生の気風をあらためて感じた2時間でした。

#### 【生徒の感想より】

- ・ ラジオやテレビとは比べられない程の迫力と、場面ごとに変わる表情に目が離せなかった。
- ・ もうちょっと堅苦しい雰囲気を想像していた。思ったよりも現代的なオチやネタが多く、とても楽しめた。
- ・ 演じ手の「目のやり方」で、表現している物の大小等の想像を観客に働きかけてることが、技術の凄みだと感じた。面白いと思える一席は、演じ手・観客の相互によってつくられると思った。
- ・ とても面白かった。落語の最後のオチではお腹が痛くなるくらい笑った。
- ・ 日本の伝統に触れる機会が減ってきてしまった現代で、このように生の舞台を観ることができるのは本当に貴重だと感じた。



<学校のホームページはこちらです>

<http://furuko.myswan.ed.jp/>



## (4) 古川黎明高校

### <令和5年度 体育祭を開催しました！>

9月29日（金）秋晴れのもと、体育祭を盛大に開催しました。コロナ禍以前の状態に戻し、競技のみならず応援も盛り上がり、前期中間考査後の熱いエネルギーを存分に発揮しました。

本校の体育祭の特徴は、何といても中高合同の行事としておこなっていることです。中学1年生から高校3年生までを縦割りにチーム編成し、体育祭前日には色別集会と称される縦割りの打ち合わせをおこない、大会当日の動きやルールの確認をおこないます。取り仕切るのは高校3年生の体育祭実行委員のメンバー。的確な進行でチームの規律と意思統一をはかります。体育祭当日、午前の部は合同種目として大縄跳び、障害物リレー、色別対抗リレー。午後の部は中高分散しての種目（高校は部活動対抗リレー、借り人競争、騎馬戦、クラス対抗全員リレー）で祭りのクライマックスを迎えます。部活動対抗リレーは、「パフォーマンス部門」（部ごとのユニフォームと用具を使いリレー）と「本気部門」（黎明 No.1 部活を決めるガチレース）があり、高校独自種目ならではの迫力を見せつけます。ファイナルを飾る全員リレーは、男子が多い理系クラスが強いのですが・・・たまに番狂わせも起こります。3年生はこの行事を機に受験モード本番にスイッチを切り替えます。高校時代の1ページを彩る爽やかな1日を全校生徒全員で共有しました。

※本校 HP にはより多くの写真を掲載しております。



<学校のホームページはこちらです>

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

## 4 コラム

### (1) 築館高校

<夏から秋は多くの生徒がボランティアに汗を流しています！>

ボランティア活動は本校の目玉とも言える活動の1つです。減少していた派遣依頼もコロナ禍前の数に戻り（それ以上？）、多くの生徒が地域伝統行事やスポーツイベント、学習支援活動（サマースクール）、チャリティ活動などに参加しています。ボランティアを学校の特色として積極的に取り入れ10年を迎えますが、今では「築高と言えばボランティア」というイメージが地元の方々や近隣地域に定着しています。今年度は4月からこれまでに25件を超える派遣要請をいただき、10月末現在で延べ350名が参加しています。例年夏休みには、近隣の小学校からの要請で小学生の学習支援を行っています。つい先日は、紅葉に染まる栗駒山を一望する市営深山牧場で焼肉まつりの運営に携わり、県外ナンバーも多く混じる来訪者に栗原産仙台牛を提供しました。11月3日（金）に行われた築館薬師まつりでも藤原一族の装束をまとい町内をパレードしたり、神輿や龍神踊りで祭りに花を添えたりと、築高生が様々な場面で活躍しました。



くりこま高原焼肉まつり



子ども食堂（若柳）



築館薬師まつり（昨年度のもの）



サマースクール（学習支援）

<学校のホームページはこちらです>

<https://tukiko.myswan.ed.jp/>

## 5 お知らせ

### (1) 美田園高校

〈学校説明会（令和6年1月14日（日）開催予定）のご案内〉

令和6年度一期入学に向けた学校説明会を下記の日程で実施します。通信制の学習の進め方は、全日制・定時制とは全く異なります。入学する前にその通信制のシステムを理解しておくことが学習継続と卒業につながります。進路の選択肢のひとつとして美田園高校を考えていらっしゃる方は、ぜひとも学校説明会に御参加ください。



日時：令和6年1月14日（日）

対象：本校への入学を希望している方と保護者の皆様、及び中学校・高校の先生方

会場：まなウェルみやぎ 3階 大研修室

諸連絡：○事前の申し込みが必要です。

詳細は本校 HP をご覧ください。

○駐車場には限りがあるため、できる限り公共交通機関を御利用ください。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://mitazono.myswan.ed.jp/>